

北九州市長 武内 和久 様

2023年10月23日

日本共産党北九州市会議員団

団長 荒川 徹

堀江貴文氏の市アドバイザー解任を求める申し入れ

本市は9月22日、「CROSS FM」（クロスエフエム）会長に就任した実業家の堀江貴文氏を市のアドバイザーに任命したと発表し、おもにスタートアップ支援に関する助言を受けるとしています。

堀江氏は就任直後の9月27日、10月1日からのインボイス制度実施を前に、同制度に反対している人たちを指して、「バカのせいで税金が無駄遣いされています」とのユーチューブ動画を公開しました。その中で、インボイス反対の抗議集会について「こいつらがデモやるおかげで俺たちの税金がまた無駄遣いされちゃうわけ」、「ちょっと頭の弱い人たちがワーワー騒いで。それを収めるために広報、宣伝費、広報費がかかってくる」などと敵視。「はっきりいって腹立つ。デモとかしてる暇あったらもっとお前ら、自分のスキル磨けや」などと揶揄しています。

同氏は2006年、ライブドア事件（証券取引法違反容疑）で逮捕され、一審の判決公判では裁判長から「上場企業の責任者としての自覚が微塵も感じられない」と厳しく非難されました。

北九州市では、事業所の99%を占める中小企業・小規模事業者が市の産業を支える大きな柱となっています。ところがこのインボイス制度の導入によって、すでに廃業する中小事業者も出てきており、ネットによる反対署名が過去最高の54万人に達したのも、その影響の大きさを物語っています。

そもそも、インボイス制度反対の声と行動を揶揄すること自体、「税金は能力に応じて負担する」という応能負担の原則をまったく理解しないものであり、許せるものではありません。よってわが党として、以下のように申し入れるものです。

なお、この申し入れに対し、来る11月10日までにご回答ください。

記

- 一、 中小企業・小規模事業者の実情を理解し、寄り添う立場に立てない堀江貴文氏は、本市のアドバイザーとして相応しいとは言えないため、同氏を解任すること。
- 二、 公金支出を伴うアドバイザーについて、その選考基準を明確にすること。

以上、申し入れます。